



第76期 中間報告書

2022.4.1-2022.9.30

kitazawa BUSINESS REPORT



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第76期第2四半期決算の概要および当社の取り組みにつきましてご報告申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染防止と経済活動の両立により、徐々に回復の兆しがみられたものの、ロシア・ウクライナ情勢の深刻化、急速な円安の進行等による原材料・エネルギー価格の高騰の影響もあり、先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループの当第2四半期の売上高は77億77百万円（前年同四半期比2.1%減）となりました。また、営業利益は2億58百万円（前年同四半期比8.0%増）、経常利益は2億98百万円（前年同四半期比10.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億77百万円（前年同四半期比34.0%増）となりました。

当社グループの主要取引先である外食産業におきましては、1月に再適用された新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置が3月に全面解除され少しずつ客足が回復しつつありましたが、新型コロナウイルスの第7波の急拡大に加え原材料価格等の上昇の影響から、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような経営環境の中で当社グループは、従業員および取引先への感染症拡大防止を考慮しつつ、既存顧客へのアフターフォロー、アフターサービスを徹底し更なる信頼関係を築き、新規顧客への積極的な営業活動、当社独自の高付加価値商品の単品販売強化、スーパーマーケットや食品加工工場への営業を徹底し、積極的に事業を展開していく所存であります。

当社グループでは「SDGs」の理念に賛同し、すべての人々が地球とともに笑顔で過ごせるよう「SDGs」達成に向けた社会活動を推進してまいります。当社では性別問わず、出産や育児等による休暇取得奨励や無駄な業務の見直しや仕組みを変えるとともに、リモートワークを導入することで、働きやすく、また働きつづけることができる環境づくりや、廃油を大幅に削減するフライヤーや、給水加熱に排熱を再利用する茹で麺機などの、地球環境負荷軽減のための製品開発などに取り組んでおります。これからも持続可能な社会に向けて、未来を切り開いてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、売上高163億70百万円、営業利益4億30百万円、経常利益4億90百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2億円を予想しております。

また当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つと考えており、安定的な配当の継続を維持しつつ、業績に応じ積極的に株主の皆様へ還元していくことを基本方針としておりますが、業績などを総合的に勘案し中間配当は見送らせていただき、期末配当金予想額を1株当たり5円とさせていただきます。

今後とも皆様の変わらぬご理解、ご支援を賜りたく、謹んでお願い申し上げます。

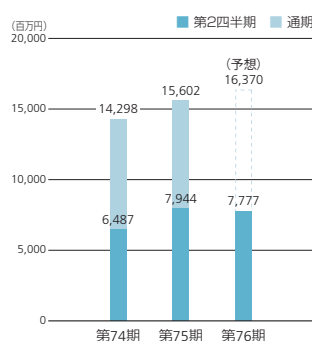


代表取締役社長

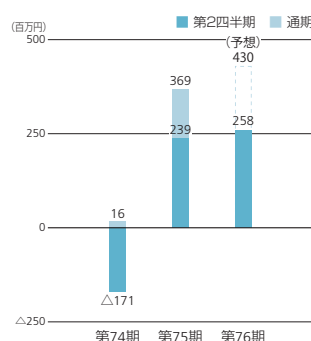
北川 正樹

連結決算ハイライト

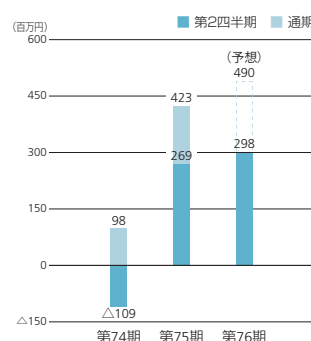
売上高



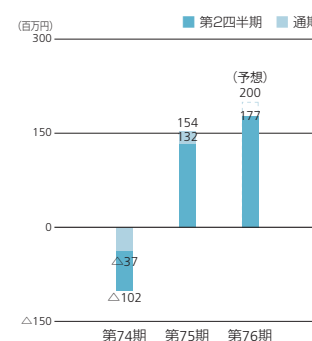
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益





持続可能な社会に向けて、北沢産業は未来を切り拓いていきます。

わたしたち北沢産業グループはSDGsの理念に賛同し、サステナビリティ活動の一環として「より良い職場環境づくり」「食の安心・安全のための活動」「生産者に寄り添う活動」「地球環境負荷軽減のための製品開発」に取り組んでおります。



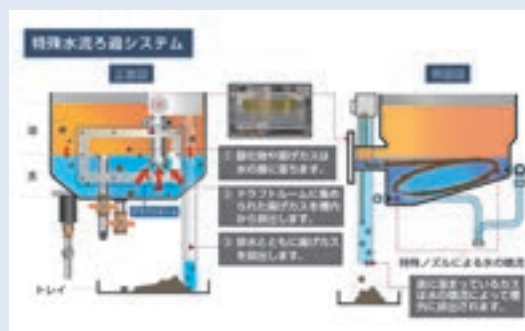
主力商品

「水」と「油」のフライヤー WAO

北沢産業では「**廃油を大幅に削減するフライヤー**」の開発に取り組み、独自の特許技術『特殊水流過システム』で実現させることに成功しました。そして、誕生したのが「水」と「油」のフライヤーWAO。



説明動画



『特殊水流過システム』により酸価値を低く保つことが可能となり、常にきれいな油でカラッと美味しい揚げあがりとなります。また、油を抜いての清掃頻度も大幅に削減されます。

トレイバックシステム



3つのコンセプトで開発された、作業環境も快適にする画期的な食器洗浄システムです。下膳された食器から残滓を取り除き、食器とトレイを分けて洗浄することができます。

食器の残滓等を落としやすくするために大量のお湯を溜めている「浸湯槽」をなくすことで、「**使用水量の大幅な削減**」を実現いたしました。

さらに、食器・トレイの洗浄作業時の人件費の削減や食器の洗浄作業時の下処理の軽減など従来の洗浄に係わる労力も大幅に削減できます。

説明動画



TTG トリプル洗浄機

コップ・食器・カトラリー・トレイなどを一度に洗浄し、さらに食器ごとにスタッキングする機能を搭載することで、洗浄にかかわる労力を削減できる洗浄システムです。

食器の残滓等を落としやすくするために大量のお湯を溜めている「浸湯槽」をなくすことで、「**使用水量の大幅な削減**」を実現いたしました。

また、食器類を軽く洗い流すなど下処理作業が軽減され、働く方たちの作業環境向上にも貢献します。



説明動画



四半期連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科 目	当第2四半期 2022年9月30日現在	前 期 2022年3月31日現在
資 産 の 部		
流動資産	8,437,214	8,635,393
固定資産	7,963,424	8,109,792
有形固定資産	5,447,567	5,482,747
無形固定資産	243,573	202,954
投資その他の資産	2,272,283	2,424,089
資産合計	16,400,639	16,745,185
負 債 の 部		
流動負債	6,379,951	6,510,451
固定負債	1,099,848	1,330,480
負債合計	7,479,799	7,840,931
純 資 産 の 部		
株主資本	8,316,266	8,231,385
資本金	3,235,546	3,235,546
資本剰余金	2,965,130	2,965,130
利益剰余金	3,058,061	2,973,166
自己株式	△ 942,472	△ 942,458
その他の包括利益累計額	604,572	672,868
その他有価証券評価差額金	605,086	673,289
退職給付に係る調整累計額	△ 514	△ 421
純資産合計	8,920,839	8,904,254
負債純資産合計	16,400,639	16,745,185

■ 四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	当第2四半期 (2022年4月 1日から 2022年9月30日まで)	前第2四半期 (2021年4月 1日から 2021年9月30日まで)
売上高	7,777,357	7,944,935
売上原価	5,705,462	5,908,421
売上総利益	2,071,895	2,036,513
販売費及び一般管理費	1,813,165	1,796,953
営業利益	258,730	239,560
営業外収益	44,920	36,036
営業外費用	5,642	6,018
経常利益	298,007	269,578
特別利益	—	9,077
特別損失	—	182
税金等調整前四半期純利益	298,007	278,473
法人税、住民税及び事業税	50,644	146,172
法人税等調整額	69,518	△ 371
四半期純利益	177,845	132,672
親会社株主に帰属する四半期純利益	177,845	132,672

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	当第2四半期 (2022年4月 1日から 2022年9月30日まで)	前第2四半期 (2021年4月 1日から 2021年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,955	252,263
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 151,546	△ 28,933
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 92,964	△ 92,965
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,207,543	4,219,956

トピックス

FOOMA JAPAN 2022（国際食品工業展）

アジア最大級の食の技術の総合トレードショー「FOOMA JAPAN 2022（国際食品工業展）」へ本年も出展いたしました。

引き続きコロナ禍ではありましたが、前年度より規制が緩和された中、今年度は2022年6月7日(火)～10日(金)東京ビッグサイトにて開催されました。会場スタッフは呼び込みや試食用のご提供も細心の注意を払いながら、持ち前の明るい挨拶と親切丁寧な機器の説明で、多くのお客様にご好評をいただくことができました。（総来場者数は92,717名）



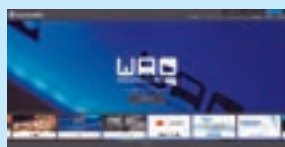
当社ホームページのご案内

下記アドレスにアクセスいただくことにより、当社の会社情報や商品情報、IR情報などをご覧いただくことができます。分かりやすく、迅速に情報をご提供してまいります。

▶▶▶ <https://www.kitazawasangyo.co.jp>

北沢産業

検索



株主総会資料（招集通知）の電子提供制度への当社対応について

2022年9月1日施行の改正会社法により、株主総会資料*の電子提供制度が開始されました。これに伴い、株主総会資料は、原則として郵送する書面ではなく、当社ホームページ等のウェブサイトへアクセスしていただき、ご確認いただくこととなりました。

ただし当社では、同制度が初めて適用される今回の定時株主総会資料につきましては従前どおりの招集通知を郵送でもお届けする予定です。

なお、上記対応につきましては今後、変更の可能性もございますので、あらかじめご了承願います。

※株主総会資料とは、株主総会参考書類、事業報告、監査報告、計算書類、連結計算書類を指します。

株主総会資料の電子提供に関するお問合せ先

日本証券代行株式会社 代理人部
電子提供制度専用ダイヤル ☎ 0120-252-455
(受付時間：土・日・祝日を除く平日9:00~17:00)

よくあるご質問 https://www.jsa-hp.co.jp/name/procedure/company_law_faq.html
もしくは株主様の口座がある証券会社等にお申し出ください。

会社概要（2022年9月30日現在）

商 号 北沢産業株式会社
創 業 1951年3月28日
本 社 所 在 地 〒150-0011 東京都渋谷区東二丁目23番10号
電話 (03) 5485-5111 (代表)
<https://www.kitazawasangyo.co.jp>
資 本 金 32億3,554万6,415円
従 業 員 455名（連結）

取締役および監査役（2022年9月30日現在）

代表取締役社長	北 川 正 樹
常 務 取 締 役	石 塚 洋
取 締 役	小 山 栄 樹
取 締 役	神 田 浩 徳
取 締 役	甲 田 欣 豊
取 締 役	長谷川 英 樹
社 外 取 締 役	青 木 茂 男
社 外 取 締 役	山 田 正 人
常 勤 監 査 役	相 原 貴 二
社 外 監 査 役	藤 森 一 喜
社 外 監 査 役	井 上 晴 孝
社 外 監 査 役	納 谷 全 一 郎

株式の状況（2022年9月30日現在）

発行可能株式総数 72,000,000株
発行済株式の総数 23,818,257株
株主数 3,462名
大株主

株主名	持株数（株）	持株比率（％）
北沢持株会	1,781,850	9.58
光通信株式会社	1,390,900	7.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,158,800	6.23
北沢産業従業員持株会	931,160	5.01
株式会社北陸銀行	921,000	4.95
株式会社UHPartners2	796,000	4.28
フクシマガリレイ株式会社	778,000	4.19
シンメンテホールディングス株式会社	397,400	2.14
株式会社インテリックス	370,000	1.99
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	299,900	1.61

（注）持株比率は自己株式5,228,215株を控除して計算しております。

株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定 時 株 主 総 会 毎年6月

基 準 日 3月31日

中間配当基準日 9月30日

公 告 方 法 電子公告により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
ホームページアドレス
<https://www.kitazawasangyo.co.jp>

株主名簿管理人 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社

同 事 務 取 扱 場 所 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社 本店

（郵便物送付先） 〒168-8620
（お 問 合 せ 先） 東京都杉並区泉和二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部
電話 0120-707-843（フリーダイヤル）

各種手続のお申出先

- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでも受け付けております。

ホームページアドレス <https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>
（一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。）



北沢産業株式会社

